

# 第 24 回 横浜環境活動賞 受賞者決定

横浜環境活動賞は、地域で様々な環境活動を積極的に行っている方々を表彰する制度です。

このたび、学識経験者などで構成する「横浜環境活動賞審査委員会」の審査を経て、第 24 回の受賞者を決定しましたので、お知らせします。

横浜市は、この制度を通し、市民の皆様に環境の保全・再生・創造に対する関心をより一層高めていただくとともに、地域の環境活動を推進し、環境にやさしいまちづくりに取り組む方々を応援しています。

## 1 受賞者一覧（全 13 者） ※受賞者の概要は別添資料参照（敬称略）

<p><b>市民の部（7 団体・個人）</b></p> <p>大賞 特定非営利活動法人 茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会</p> <p>実践賞（五十音順）</p> <p>阿部 昭雄</p> <p>一般社団法人 大岡川川の駅運営委員会</p> <p>関ヶ谷市民の森愛護会</p> <p>平戸永谷川水辺愛護会</p> <p>横浜温暖化防止推進員会議</p> <p>特定非営利活動法人 楽竹会</p>
<p><b>企業の部（3 社）</b></p> <p>大賞 株式会社よこはまグリーンピース</p> <p>実践賞（五十音順）</p> <p>カーボンフリーコンサルティング株式会社</p> <p>株式会社東芝 ストレージ&amp;デバイスソリューション社 大船分室</p>
<p><b>児童・生徒・学生の部（2 団体）</b></p> <p>大賞 フェリス女学院大学 エコキャンパス研究会</p> <p>実践賞 横浜市立三ツ沢小学校</p>
<p><b>生物多様性特別賞（1 団体）</b></p> <p>特定非営利活動法人 茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会</p>



横浜市環境行動キャラクター  
エコぼん

受賞者への取材については、問合せ先にご連絡ください。

## 2 表彰式について

平成 29 年 6 月 14 日（水）に開催予定です。詳細は、改めて記者発表します。

お問合せ先		
環境創造局政策課環境プロモーション担当課長	小川 久美子	Tel 045-671-3830

## 第 24 回横浜環境活動賞 受賞者概要

(敬称略・五十音順)

## 市民の部 (7団体・個人)

受賞内容	受賞者名	活動地域	活動概要
大賞	特定非営利活動法人 茅ヶ崎公園自然生態園 管理運営委員会 <b>生物多様性特別賞 同時受賞</b>	都筑区	茅ヶ崎公園の自然環境の保全・再生のため、水質や生物調査、計画的な維持管理を行っている。また、米づくりの体験や自然観察会、自然体験のイベント、ニュースレターの発行等様々な活動を通し、自然に親しみ、学べる場を提供している。
実践賞	阿部 昭雄	緑区	地域の身近な自然の先生として、竹山小学校では、毎年の米づくりや藁を使った草履づくり等、鴨居小学校では、遠足のガイド、ドングリなどの植物をつかった工作等の支援をしている。これらの活動を通し、子どもたちに自然のすばらしさ、大切さを伝えている。
実践賞	一般社団法人 大岡川川の駅運営委員会	中区 西区 南区 磯子区	17の自治会・団体・企業等が参加する組織。大岡川下流域の親水施設の管理・運営を行うとともに、地域の自治会や活動団体と連携し、清掃や親水体験イベント等を開催している。また、大岡川の環境改善を目指し、植物(ヨシ、アマモ、ワカメ等)の植え付け等に取り組んでいる。
実践賞	関ヶ谷市民の森愛護会	金沢区	関ヶ谷市民の森において、「ほたる復活クラブ」「木工クラブ」「園芸クラブ」といった様々な活動を行っている。平成 25 年度に愛護会で 5 か年計画を、27 年度に横浜市と協力して保全管理計画を策定し、目標を掲げて、森の保全管理やクラブ活動等を推進している。
実践賞	平戸永谷川水辺愛護会	港南区	104 人の会員がいる大規模な水辺愛護会として、月 1 回の除草・清掃のほか、春・秋には、地元住民、学校、企業等と協力した 700 人規模のクリーンアップを実施している。また、小学校での環境教育の実施、地域と協力したさくらまつりの開催等も行っている。
実践賞	横浜温暖化防止推進員会議	市内全域	市内の地球温暖化防止推進員が集まり、地球温暖化防止に関する情報交換、発信等を行っている。平成 26 年度からは、従来の活動に加え、地区センターを中心とした、省エネの講座や子ども向けの体験型イベント等を実施し、活動を拡大している。
実践賞	特定非営利活動法人 楽竹会	市内全域	荒廃竹林の整備として、竹林の伐採や粉碎、炭焼き、竹工芸製作を行うほか、小学校での環境学習講座、竹琴太鼓による訪問演奏会、粉碎チップを活用した実験農場における野菜栽培等を行っている。また、機関紙を毎月発行し、学校などに送付している。

(裏面あり)

## 企業の部（3社）

受賞内容	受賞者名	所在区	取組概要
大賞	株式会社よこはまグリーンピース	西区	市内2か所の飲食店で、使用する野菜の9割を横浜産とし、従業員が生産者の畑に出向くだけでなく、お店の利用者と生産者が直接ふれあう機会を提供している。また、店舗脇での野菜栽培や小学校等での出前講座など様々な方法で「横浜の地産地消」に取り組んでいる。
実践賞	カーボンフリーコンサルティング株式会社	中区	CO2排出量のコンサルティング業務や排出権の販売を通し、企業の持続可能なCO2削減だけでなく、環境に対する意識向上に寄与している。900社以上の実績があり、「オフセット大賞」の受賞も数多くある。また、海外で植林事業を行っており、植林本数は8年間で7万本に上る。
実践賞	株式会社東芝 ストレージ&デバイスソリューション社 大船分室	栄区	東芝グループ全体で、環境に配慮した製品開発、調達取引に取り組むほか、大船分室として、省エネや廃棄物削減に職員が積極的に取り組んでいる。特に、職場の不用品を回収し、他職場へ提供するリユース展の実施により、毎回3t以上がリユースされている。

## 児童・生徒・学生の部（2団体）

受賞内容	受賞者名	所在区	活動概要
大賞	フェリス女学院大学 エコキャンパス研究会	泉区	学内での環境活動にとどまらず、地域と連携したイベントへの出店や清掃活動への参加、エコキャンパスを紹介するツアーの実施、企業と連携したメニュー開発や、子ども向けの普及啓発イベントを行政と連携して行うなど、様々な活動に取り組んでいる。
実践賞	横浜市立三ツ沢小学校	神奈川区	平成元年から継続して、児童が主体となり、ホテルの「愛育活動」に取り組んでいる。毎年、ホテル委員会を中心に、学校全体で繁殖、飼育、放流を行うほか、劇を通し、ホテルの生態などを伝える会や、地域の方々も参加する観賞会を開催している。